

クロックアップ・サイリックス 11.5回公演上演台本

ヨクヨム

作・演出／川原 武浩

C A S T

男 / 上瀧昭吾

女 / 森久智江

ト書き / 長岡暢陵

〒 / 堺雅紀子

《S T A F F》

音効 青井美貴

照明 権藤智海 / 三坂恵美

装置 兄弟船

宣伝美術・制作 森久智江

0 前文

舞台上に、男女が登場。

男 えー、本日はご来場頂き、誠にありがとうございます。開演に先立ちまして、
女 日本国民に
男 お願い申し上げます。携帯電話等、音の鳴るモノは、上演の妨げとなりますので、
女 われらとわれらの子孫のために、
男 電源をお切りくださいませ。
女 理想としては二度と音がしないぐらいに
男 徹底的に
女 どれぐらい徹底的かというと、電源を切った上に
男 バッテリーまで外し
女 更には液晶たたき割り
男 こういふ（ストレート）タイプはこう（割る）。
女 こういふ（フォールド）タイプはこう（割る）。
男 その上で、プラスチック部分と
女 それ以外の部分をきれいに分別し
男 そのままりサイクルに出せるぐらい徹底的に
女 徹底的に
男 徹底的に
女 お切り頂けると、大変嬉しく思います。
男 もちろん目的は上演の妨げとなる要素を
女 あらかじめ
男 可能な限り、排除するためです。
女 国家の名誉にかけ、
男 全力をあげて
女 この崇高な理想と目的を達成することを誓うよう
男 よろしくお願ひ致します。
女 …それでは、開演します。
ト 舞台奥の小窓が開くと、その向こうには「ト書き」担当の姿。「ト書き」担当、手元の台本を見ながら…書かれているト書きを読む。
すごい金がかかっていそうなCGで、タイトルがバーン。
壮大かつ荘厳な音楽がゴーン！
役者紹介は全身360度グルグル回りながらいまどきマトリックスっぽくグネグネ
ポーン！
最後にすごく小さく控え目に作演出の名前がズギャーン！
暗転！！

ト 明転。舞台上には、椅子に座っている男女。リーディング公演のはずなのに、二人は手に何も持っていない。勿論譜面台なども見あたらず、壁にカンニングペーパーが貼ってあるでもない。

男 (小さく) よみてー。

女 (ため息をついて) よみてー。

男 なんか読みてー。

女 なんでもいいから読みてー。

男 やっぱ読まなきゃでしょ。

女 リーディング公演なんだから。

男 なんか読まなきゃでしょ。

女 リーディング公演なんだから。

ト 男、ポケットから何かクシャクシャの紙片を取り出す。

女 なにそれ。

男 別に。

女 抜け駆け？

男 何が。

女 それ。

男 違うって、台本じゃないから。

女 読ませて。

男 疑ってんの？

女 疑ってないけど読ませて。

男 レシートだよ、レシート。

女 それでもいいから読ませて。

男 俺のだ。

女 じゃあ見せて。

男 見せる？

女 読まないから。

男 読まないって、見せるイコール読むじゃん。

女 音読しないから。黙読ですませるから。だから見せて。

男 意味わかんね。

女 わかんなくてもいいから見せて。

ト 女、いきなり男に0. 1秒間に5発のパンチをたたき込む。

男 スペシャルローリングサンダー…

ト 男、頭から床に崩れ落ちる。と危ないので安全第一で頭から床に崩れ落ちる。男の手を離れ床に落ちる紙片。女、それを拾い上げて

女 (レシートの内容を音読) 【日替わり】

男 読まないって約束だろ。

女 約束してない。読まないって言っただけ。

男 汚ねえ。

女 (レシートの内容を感情豊かに音読)【日替わり】
ト 女、レシートを読み飽きたのか、丸めて放り投げる。男、それを乞食(放送禁止用語)のようにあさましく拾い上げる。
男 なにすんだよ、俺の、俺だけのレシート。
女 はあ、つまんなかった。
男 つまんないってなんだよ。
女 だってなんか当たり前っていかさ、ヤマもオチもない。
男 買い物するときに、ヤマとかオチとか考えないだろ。

【エチュード：レシートをネタに1分少々】

ト と、舞台奥の窓から丸まった紙くずが飛んでくる。
男 うわ。
女 わあ。
男 紙だ。
女 文字だ。
ト 二人、放送禁止用語を連呼しながらその紙をあさましく奪い合う。
男 この芸人が！
女 この河原乞食が！
男 売女！
女 ヒモ！
男 女給！
女 ポン引き！
男 女中！
女 丁稚！
男 女工！！
女 人足！！
男 下女！！
女 下男！！
ト と、女、くんずほぐれつしながらもマウントポジションを確保。男、顔面をガードするが、女はかまわずガードの上からパンチの連打。男がたまらず腕を伸ばし、攻撃を切ろうとしたところをすかさず腕ひしぎ逆十字。男、紙を取り落とす。女、すばやくそれを拾い読もうとするが…
女 うわ。
ト 女、読むのを躊躇する。その隙に男が紙を奪い取り…
男 うわ。
ト 読もうとするが、やはりこちらを読むのを躊躇う。
女 これは、駄目っしょ。
男 いくら文字に飢えてるっていってもねえ。
ト その紙は「放送禁止用語一覧」。放送関係者、出版関係者のバイブルであると同時に

に、別の意味でクロサイの座付き作家川原武浩のバイブルである。

女 やめましょうよ。意味無く人を傷つけるの。

ト 傍白「意味はないが、意義はある」

男 そんなんだからアングラだとか言われちゃうんですよ。

ト 傍白「アングラはもっとすごい」

女 っていうか、台本かけないからって、苦し紛れにこんなの寄越さないで下さいよ。

ト 傍白「失礼な事を言うなこの野郎本当に申し訳ありません」

男 いやまあ、確かに疑問はありますよ。なんでこれ言っちゃいけないのっていうような。えーと、例えば「カッペ」とか。これ使えなかったら、あのアニメも「いな（ピー）大将」ですよ。芸能人は「いな（ピー）い」ですよ。冷たいパスタは「（ピー）リーニ」って、ねえ。

女 それよりもさ、魔女ッ子が駄目ってどういうこと？ 誰か困るわけ？ 魔女ッ子って放送で言われると。これは魔女ッ子メグちゃんに対する弾圧？ オタクへの迫害？ なんで魔女ッ子が駄目なのに、魔女はOKなの？ メグちゃんが駄目で宅急便がOKな理由は何？ ハヤオに対する遠慮？ ジブリに対する優遇？ それとも国策？ 国策なわけ？ もしかして。

男 言葉を消しても、実体がそこにあるわけで。

女 実体が消えたから、無くなった言葉とは訳が違うわけで。

男 乞食とか浮浪者とか無くしても、現実ホームレスはいるわけで。

女 淫売とかパンスケとか無くしても、売春婦はいるわけで。

男 親方をチーフと呼ぶのもなんか違うし

女 八百屋を青果業と呼ぶのもなんか違う。

男 ココロで親方と思いながらチーフと呼び、

女 ココロで八百屋と思いながら青果業と書く。

男 だから、僕らは少しずつ、壊れていくのかも知れない。

女 だから、私達は少しずつ、歪んでいくのかも知れない。

男 言葉はココロを表す。

女 そのはずだった。

男 だから読む。

女 繰り返し読む。

男 文脈を掴み、

女 行間を読み、

男 その言葉が何を語ろうとしているのかを読み取ろうと

女 読んで、

男 読んで、

女 読んでいた。

男 そんなわずかの六分の一。

女 そんなわずかの一条二項。

男 そのわずかな文章の中に

女 私達の信じてきた何かを探して。

ト 音楽！ 窓が開くとそこには本棚に詰め込まれた大量の本。二人、貪るように本を消費していく。はじめは丹念に、やがて雑に。読んでは捨て、読んでは捨て。やがて本棚はからっぽになってしまう。音楽、段々と遠くへ。一時の高揚も、音楽が消えていくのと共に、祭りの後のように治まり、何事もなかったような日常に戻っていく。

男 (小さく) よみてー。

女 (ため息をついて) よみてー。

男 なんか読みてー。

女 なんでもいいから読みてー。

ト と、女の目が怪しく光る。

男 何？

ト 女、男をいきなり押し倒す。小娘のような悲鳴を上げる男。

男 キャアアアア！

ト 女、男のシャツを乱暴に剥ぎ取ろうとする。抵抗する男。

男 うわ、なに、マジ？ やめろって、やめて、ママ、助けて、ママー！

ト 男、抵抗虚しくシャツを剥ぎ取られる。女、シャツを裏返しにして…

女 ヘッヘッヘッヘッ。

ト 男、子リスのように震える。

男 ガタガタブルブル。

女 (タグを読んで) 綿100%。酸素系漂白剤は使用しないで下さい。蛍光増白剤が入っていない洗剤を使用して下さい。タンブラー乾燥はお避け下さい。濡れたまま長時間放置しないで下さい。洗濯後、直ちに形をととのえて干して下さい。

MADE IN CHINA。

ト 間。

女 何このお願いの束。なんで中国製の安物シャツごときに4つも5つも命令されなきゃなんないわけ？ よーし、完全無視。濡れたまま長時間放置した上に、蛍光増白剤と酸素系漂白剤バリバリのアタックとワイドハイターで洗濯漂白して、タンブラー乾燥ってなんだかわかんないけど、タンブラー乾燥した上に、洗濯した後直ちに形をととのえないで干してやる。うわあ、すっげえむかつく。まずは叩き洗いから。

ト 女、男のシャツを床に叩きつける。

女 はい、ビッタン、ビッタン…

ト 男、シャツを奪い取り素早く着る。

男 何すんだよ！

ト 女、先程までの怒りが嘘のように冷静に…

女 いや。なんか読みたいなー、って思っ。

男 ケダモノ！

ト 女、男のズボンをなめるように見る。男、危険を感じ後ずさり。

女 冗談冗談。

男 畜生、俺にも読ませろ！

ト 男、女に飛びかかるが、あえなく卍固めに仕留められる。
男 ギブギブギブ。
ト 男、自分のシャツのタグを読んで自分を慰める。
男 綿100%。酸素系漂白剤は使用しないで下さい…
女 まだかな。
男 ………。
女 いつになるんだろ。
男 知らないよ。ていうか、むしろこっちが知りたいよ。
女 台本～。
男 脚本～。
女 筋書き～。
男 役回り～。
女 なんにもわかんないのに、いったい何すればいいわけ。
ト と、窓をノックする音。
男# 来た！
女# 来た！
ト 男、窓に駆け寄り、窓を開ける。と、そこには郵便屋の姿。
千 電報です。
男 電報？
女 台本じゃなくて？
千 ドラえもん電報で。読みます「台本しばし待て、もう頭の中では完成している。
あとは外に出すだけ」
ト 二人、力無く崩れ落ちる。
千 じゃ、失礼しまーす。
ト 郵便屋、窓を閉めて去る。
男 駄目だ。
女 駄目だ。
男 何回聞いた事かそのセリフ。
女 何回騙された事かそのセリフ。
男 あとは外に出すだけ。
女 その「お湯を入れて待つだけ」みたいなライトな語感とうらはらに
男 3分どころか
女 3時間待とうが
男 3日待とうが
男# 出やしないんだ、これが。
女# 出やしないんだ、どうせ。
ト 二人、絶望のあまり舞台上をゴロゴロとのたうち回る。と、またしても窓をノックする音。
男# 来た？
女# 来た？

ト 男、窓を開けるとその向こうは壁になっている。その壁に紙が一枚貼ってある。
 男 紙だ。
 女 文字だ。
 ト 男、紙を剥ぎ取って
 男 本籍・住所・氏名 不詳
 年齢・性別 40～60歳・男性
 死因・死亡年月日 焼死・平成19年2月4日
 発見場所 福岡市東区箱崎ふ頭2丁目1番汐井公園内野球場東側汐井歩道橋下火災現場
 人相・体格等 身長165センチメートル、焼死体のため詳細不明
 着衣等 焼損のため詳細不明
 遺留金品 なし
 …って、何これ。

女 告示。平成19年6月〇日。福岡市長吉田宏。行旅死亡人こうりよしぼうにんがあつたので、行旅病人及行旅死亡人取扱法第9条の規定により、次のように告示する。なお、当該行旅死亡人は引取人がないため、遺体は火葬に付し、遺骨は当市において保管中です。心当たりの方は、福岡市博多区保健福祉センター保護3課まで申し出てください。

男 おいおい。
 女 おいおい。
 ト おいおい。
 男 最低だな。
 女 人としてどうかと思うよね。
 男 だいたいこんなのどこで見つけてくるんだ。
 女 普段からそんなのばかり探してんだろね、きっと。
 男 よく出来たフィクションだと思いたい。
 女 けど、ありえないぐらいリアル。紙がA4じゃなくて、B5なところとか。
 男 なにそれ。
 女 告示にはB版の紙使うことになってんの。
 男 なんで。
 女 前例。
 男 ああ、ね。もう、
 ト 二人、人として耐えられなくなり、抗議の声を上げる。

男# うーわー
 女# うーわー
 男 人非人！
 女 けだもの！
 男 ひとでなし！
 女 ろくでなし！

男 あの人が普段使ってるパソコン、「しぼう」を変換すると、死ぬ死亡、脂の脂肪、普通の志望の順で出てくるらしい。

女 脂の脂肪が一番に出てもおかしくなさそうだけどね。

男 全ての不謹慎な単語が一発変換できるように、わざわざ辞書登録してるって噂だぞ。

女 いや、噂じゃなくて事実。

男 なんで知ってるの。

女 書類作るときにちょっと借りて使ったことあるんだけど、もういちいち大変なのよ。イロハニホヘトって打ったら、

女# インディアン露助半島人ニガーポコペン変態途上国

ト# ピーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー

女 とかって変換してくれちゃってさ。

男 っていうか、イロハニホヘトって、いったい何の書類作ってたよ。

女 アンケート。

男 は？

女 項目よ、項目。イ) 今日のお芝居はどうでしたか？

ト (日替わり) 意味がわかりません

女 ロ) この公演をどのようにしてお知りになりましたか？

ト (日替わり) 町内の回覧板で。

女 ハ) あなたの秘密を教えてください。

ト (日替わり) 実は腋毛を植毛してます。

女 とか。

男 普通数字だろ。明治生まれか、お前。

女 なに、西洋かぶれ？

ト と、突然反対側の窓が開くと、その向こうにも壁。その壁に新しい紙が貼り付けられている。

男 またかよ。

ト 男、渋々その紙を読む。

男 本籍・住所・氏名 不詳

年齢・性別 30～40歳・男性

死因・死亡年月日 溺死・平成19年6月頃

発見場所 福岡市博多港第1区所在の博多港東防波堤灯台から真方位36度 約2330mの海上

人相・体格等 身長182cm位 かなり太め

着衣等 黒の背広上下。青のネクタイに、鳩の形をした銀色のネクタイピン、BVDのシャツとパンツ。ヤコフフォームの靴28センチメートル。

遺留金品 眼鏡。カシオ製腕時計・ウィルコム携帯電話。

現金4946円

って、なんか俺知ってるよ、こういう人。

女 はい、私も知ってます。

男 要するに眼鏡かけて、背広着たデブだろ。

女 社会人のくせにピッチ使ってるデブだろ。

男 死んだか、台本書けなくて。

女 死んだか、締め切り守れなくて。

男 南無南無。

女 アーメン。

男 もういっそ死んでいい。っていうか死ね、マジで。

女 偽モンでしょ、これ。

男 偽モンだよ、これ。

女 残らないでしょ、溺死なのに眼鏡と携帯電話とか。

男 普通流されるんじゃないの。靴とかも。

女 こんなもん作ってる暇があったら台本書きゃいいのに。

男 なんか、怒りを乗り越して淡々としてきた。

女 もう止めよう。

男 止める？

女 中止、中止。

男 公演やめるってこと？

女 だってしょうがないじゃない、台本こないし。

男 そうは言ってもショーマストゴーオンでしょ。

女 だいたい怪しいと思ってたのよ。リーディングなんだから、練習しちや駄目だ。そのとき初めて目にしたものを読むべきだ。それが真のリーディングだ。だから台本は当日、舞台上で渡す、とかなんとか言って。

男 出来上がってないんだもんなあ。

女 稽古場でも目合わさないし、おかしいと思ってたのよ。

男 なんか、芝居っていうより、もはやドキュメント？

女 公開実験でしょ。

男 いや公開処刑だね。

女 実際に舞台上に上がる方の身になってみろってのよ。

男 怖いよな。

女 怖いよね。

男 マジで読んでないんだから、台本。

女 ガチで読んでないんだから、脚本。

男 なんかんだ言って、あの人、当日は何もすることないんだもんな。

女 なんか、ビデオとったり写真とったり。

男 運動会のパパじゃないんだから。

女 っていうか、邪魔よね。

男 目障りだし。

女 入り口に立つと、お客さん通りにくそうにしてるよね。

男 いつも汗かいてるし。

女　ほんと、そろそろ死ぬんじゃないの。
男　それが人間ドッグで調べても異常がないらしいんだよね。
女　ドック。
男　え、何？
女　人間ドック。
男　人間ドッグ。
女　うわ、バカ発見。
ト　男、自信なさげに…
男　…人間ドッグ…だろ。
女　なにそれ？　金印ドッグの親戚？
男　え、ドッグじゃないの。
ト　女、激しく頷く。
男　ドックなの。
女　なの。船の検査とか修理する場所「ドック」って言うよね。
男　言うね。
女　で、人間を検査するところだから「人間ドック」
ト　男、恥ずかしさのあまり顔から火が出る。
男　あいた一す。
女　何故に博多弁。
男　「しまった一」じゃ、伝えきれない感じだから？
女　何故に半疑問形。
男　とはいいながら、イマイチこの表現でいいのかも自信がないから？
ト　と、そこに配達人がやってくる。
干　こんちわー！
男　来た。
女　来た？
ト　二人、疑わしげな様子。
干　記名捺印お願いします。
男　サインでいい？
干　記名と捺印お願いします。
男　判子もってきてないんだけど。
干　じゃ、血判で。
ト　男、人差し指の先を噛み切る。
【男、躊躇する】
ト　噛み切る。
【男、噛み切ろうとすることができない】
【男、ト書き担当に賄賂を渡して】
ト　男、どこからかでてきた朱肉で拇印を押す。
男　はい。
干　ありがとうございます。

ト 配達人、女に向かって
千 記名捺印お願いします。
女 え？ 私も？
千 はい、記名捺印お願いします。
女 判子もってきてな…
千 (すかさず) 血判で。
ト (すかさず) 女、人差し指の先を
【と、女、ト書きの指示より早く朱肉で拇印を押す】
千 ありがとうございます。
ト ちっ。
千 ついでに募金もお願いしまーす。
女 募金？
ト 配達人、いかにもチャチな募金箱を取り出して
千 歳末じゃないけど助け合い募金にご協力お願いしまーす。
男 なにその怪しい募金。
千 歳末以外も助け合おうって募金です。
女 前から疑問に思ってたんだけど、「助け合い」募金っていうけど、あれって募金する側が一方的に助けるのに助け合い募金って、おかしくない？
男 確かに。
千 じゃ、歳末じゃないけど助けてあげる募金、お願いします。
男 いいのか、そんなにあっさり名前変えて。
千 名より実をとるがモットーです。
女 で、名前はいいとしても、何を助けるわけ。
ト 配達人、その質問を黙殺して。
千 じゃ、赤っぼい羽根募金お願いしまーす。
女 おい。
男 怪しい。
女 あからさまに怪しい。
千 じゃ、生っぼい羽根募金。
男 うわあ。
女 いやな名前。
千 募金してくれたら、抜きたてみたいな羽根をさして上げます。ちょっと根っこにお肉ついてそんな感じのやつ。
男 いらないよ。
女 絶対要らない。
男 だから募金しない。
女 しない。
ト 二人、快く財布を取り出し
男# え？
女# は？

ト 二人、快く財布を取り出し、財布ごと募金する。

【配達人、二人の財布をなぜか懐から取り出して】

〒 ありがとうございます。

ト 配達人、財布を募金箱に押し込む。

〒 んしょ、んしょ。

男# ああっ！！

女# ああっ！！

【二人、配達人のところへ駆け寄る】

ト 二人、その姿を慈愛に満ちた表情で遠くから見守る。

【二人、鬼のような形相でステップバック】

ト 配達人、美しい羽根を取り出して、二人に渡す。

【配達人、カラスか鳩のような羽根を取り出して二人に渡す】

〒 どうぞ。

男 どうも。

〒 どうぞ。

女 どうも。

〒 それじゃ、失礼しまーす。

男 ちょっと待った。荷物は。

〒 荷物？

女 なんかあるでしょ、郵便だか荷物だか。

〒 ないです。

男 じゃあなんだよ、さっきの記名捺印は。

〒 ただの記名捺印です。

女 なにそれ！

男 なんだそれ！

ト 二人、にこやかに配達人に手を振り見送る。

女 そりゃないでしょ。

男 ありえないって。じゃあ何のための記名捺印だよ。

〒 何でしょう。

ト 二人、にこやかに

【二人、不承不承にこやかに。】

ト 手を振り、

【二人、不承不承手を振る】

ト 飛び上がりながら配達人を見送る。

【二人、やけくそになって】

男 （にこやかに手を振り飛び上がりながら）ふざけんなー

女 （にこやかに手を振り飛び上がりながら）ぶっ殺すー。

〒 （にこやかに手を振り返して）じゃ、しつれいしまーす。

ト 配達人、窓を閉めて去る。

【舞台上、殺伐とした空気】

【二人、やる気なさげに椅子に座り込む】

男 はあああう。

女 ふうううう。

男 もう駄目だ。

女 このまま台本待ち続けて終わるんだ、この舞台。

ト と、同情した心優しきト書き担当、二人にコーヒーを差し入れる。まあこれでも飲んで、ね。

【二人、コーヒーに口をつける】

男# 熱っっ！！

女# 熱っっ！！

男 熱い、熱すぎだろ、これ。

女 なに、どういうつもり。

男 嫌がらせ？

女 後輩いじめ？

男 若手潰し？

女 訴えてやる。

ト と、窓から裁判長が現れる。

男 裁判長！

女 告訴します！

ト 却下します。

ト 異議なし。

男 異議あり！

女 超異議あり！

ト えーと、よく読むように。

男 は？

女 何を。

ト 書いてありますから。熱いから注意してくださいって。アメリカで裁判に負けてから、ちゃんとカップに注意書きを印刷するようになったんです。マクドナルドのブレンドコーヒーは。

ト 女、カップに書かれている文字を読んで

女 熱いので、お召し上がりになる際は、ご注意ください

男 って確かに書いてあるけどさ。

女 書いてあるからって、熱すぎでしょ。やけどしちゃったじゃない。

ト でも、書いてありますから。

男 だいたい、こんなの読まない。

女 そうそう、字も小さいし。

男 読みにくい。

女 見えづらい。

ト 異議を却下し、閉廷します。

ト 裁判長、窓を閉めて去る。

女 ちょっと！
ト 二人、ブーイング。
男 ブー！
女 ブー！
ト ブーイングに応じて、裁判長、再登場。
千 ちなみに、マクドナルドのホームページによりますと「厳選したコーヒー豆を使用し、やや深煎りにしたオリジナルブレンドをお店で丁寧にドリップしています。しっかりしたコクとすっきり後味の、ブラックでも美味しい、専門店に優るとも劣らないテイストです」だそうです。
男 そんなんでもいいんだよ。
女 問題は温度なの、温度。
男 コーヒーの温度は普通70度ぐらい。
女 マクドナルドのコーヒーは85度もあるらしいじゃないの。
千 ホットコーヒーですから。
男 いくらホットでも限度があるだろ。
女 熱すぎなの、熱すぎ。
千 それでは、こういう場合はどうですか。真夏の炎天下。仕事帰りに赤提灯。
ト へい、らっしゃい！
千 とりあえず、中生で。
ト へい、中生一杯！ おまっとうさんで一す。
千 (飲んで) くは一！ おやじさん、良く冷えてるねー。
ト ええ、もうグラスを冷凍庫でカキンカキンに冷やしてますんで。
千 というのと。
ト へい、中生一杯！ おまっとうさんで一す。
千 (飲んで) ぶあー！ ぬるい、イギリスのビール並みにぬるい。おい、オヤジ！
ファックユー！
ト オー、アイムテリブリーソーリー。わたし、ロンドンから来ました。
千 というのでは、ぬるい方がイヤでしょう。コーヒーで例えるなら、冬の八甲田山。
ト 大丈夫か、しっかりしろ！ 寝たら死ぬぞ。
千 うう、大尉殿、自分はもう駄目であります。
ト そら、ホットコーヒーだ。暖まるぞ。お前にやろう。
千 しかし、それは大尉殿の。
ト いいんだ。さあ、飲め。
千 大尉殿…。

【コーヒーに口をつけ】

千 ぬるい。大尉殿、ぬるいであります。
ト なんだと。

【おなじくコーヒーに口をつけ】

ト ぬるい。おのれ、マクドナルド八甲田山店め。
千 ホットというなら熱くしろ！

ト 名に偽りあり！

千 殺す気か。

ト 訴えてやる。

千# (服を脱ぎ捨てながら) 暑iiiiii！！

ト# (服を脱ぎ捨てながら) 暑iiiiii！！

千 というように、冷たいものは冷たく、熱いものは熱く。これが世間の常識なわけです。何故もともと熱いものを熱いように出して訴えられなければならないんでしょうか。

二 人 …。

千 ちなみにこちらが、本家アメリカのマクドナルドのコーヒー。ふたにはHOT！HOT！HOT！HOT！HOT！HOT！ 3回も繰り返し書いてる上に、ビックリマーク3つもついてます。

男 今4回言ったろう。

千 その方がリズム的に良かったので。つい。それはさておき、英語が読めない文盲な密入国ヒスパニック系米国人でもわかるように、ここまで嚴重に書いてあるわけです。例えるなら、熱いよ。

ト うん。

千 すごく熱いですよ。

ト うんうん。

千 しつこいようですが、本当に熱いですからね。

ト うんうん。(飲んで) アチー！ 訴える！！

千 というのと同じわけですよ、お二人の主張は。逆ギレでしょう、普通に考えて。恥ずかしい。人として恥ずかしい。同じ日本人として恥ずかしい。いかにグローバルスタンダードな世の中とはいえですよ、我々には我々の文化があるわけで、こんなアホなスタンダードまで輸入する必要はないと思うんですけど、いかなもんでしょうか。

ト 二人、沈黙。やがて、沈黙を破るように男が口を開く。

男 別に本気でそんなこと思ってるわけじゃないんだよ。

女 ただ、なにかしていないと

男 気をそらして

女 本当のことは見ないように

男 見えないように

女 そうしていないと

男 不安で

女 不安で

男 叫びだしそうだから

女 なんでもいいから笑っていないと

男 つまらないことでも、

女 それサイコー！超ウケルとかいいながら

男 笑っていないと

女 本当のことを思い出してしまうから。

男 今日のことだけ考えて

女 先のことなど考えないで

【ト・テ、輪唱のように男と女の台詞を一拍遅れて読み上げる】

男# 笑う。

ト# 笑う

女* 笑う。

テ* 笑う。

男# 笑っている。

ト# 笑っている。

女* 面白くもないのに。

テ* 面白くもないのに。

男# 笑っている。

ト# 笑っている。

女* 楽しくもないのに。

テ* 楽しくもないのに

男# 笑っている。

ト# 笑っている。

女* 辛いのに

テ* 辛いのに

男# 笑っている。

ト# 笑っている。

女* 苦しいのに

テ* 苦しいのに

男# 笑っている。

ト# 笑っている。

女* 笑ってないのに

テ* 笑ってないのに

男# 笑っている。そんな、世間体を取り繕うだけの虚ろ。

ト# 笑っている。そんな、世間体を取り繕うだけの虚ろ。

女* 筋書きも

テ* 筋書きも

男# 役回りもない

ト# 役回りもない

女* そんな世の中で

テ* そんな世の中で

男# 語るべき言葉を持たないコロスのような僕たちは

ト# 語るべき言葉を持たないコロスのような僕たちは

女* 息を殺し

テ* 息を殺し

男# 自分を殺し、
ト# 自分を殺し
女* いつまで
テ* いつまで
男# なにを
ト# なにを

全 員 筋書きも役回りもないそんな世の中で、語るべき言葉を持たないコロスのような
僕たちは、息を殺し、自分を殺し、いつまで何を…待ち続けているんだろう。

【音楽：MonkeyMajik＋吉田兄弟：CHANGE】

【暗転】

ト 明転。と、ノックの音。椅子に座った二人、気だるげに窓のほうに目をやるが、立ち上がろうとしない。そこに、もう一度ノックの音。窓を開けて配達人が姿を現す。

〒 メール便で一す！ 記名捺印いりませーん！

男 ああ、そう。

女 またないんでしょ、なにも。

〒 ありますよ、荷物。

男 ある？

女 本当に・

〒 はい。で、どれがいいですか？

男 どれって、どういうこと。

〒 1番から4番まで

ト タイムショック。

〒 1番から4番まで

ト アタックチャンス

〒 好きな数字を選んでください。

ト 二人、ガチでじゃんけん。

勝 (勝ったほうが) じゃ、〇番。

〒 〇番ですね。

ト 配達人、茶封筒を取り出して

〒 こちらです。

ト 二人、中身を確認。

男 これって

女 もしかして

男 長かった

女 よく待った。

男 ウラジミールより

女 エストラゴンより

男 待ち続けた自分を褒めてあげたい。

二 人 台本だー！

ト 二人、土着的に喜びの踊りを踊る。

男 キター！

女 台本キター！

ト と、舞台上が突然暗転する。

全 員 わー！

男 何？ 何でここで暗転。

女 停電？

男 見えない。

女 読めない。

男 だれか明かりを。
女 もっと光を。
ト と、ト書き担当と配達人にスポットライト！
〒 たららったったた
ト たららったったた
〒# (中略) たったったん。
ト# (中略) たったったん。
ト 幕間3分クッキング。
〒 さあ、今日も楽しい幕間3分クッキングの時間がやってまいりました。
ト この番組は、トライアルで値切る長岡暢陵と
〒 ルミエールで万引き、堺雅記子
ト 二人合わせて、下の下
〒 がお送りします。
ト かんた？
〒 おおくりします。
ト はい、やりなおし！
〒# たららった (中略) ったん。
ト# たららった (中略) ったん
ト 幕間3分クッキング。
〒 さあ、今日も楽しい幕間3分クッキングの時間がやってまいりました。
ト この番組は、障害者からカツアゲ、長岡暢陵と
〒 老人宅に床下換気扇、堺雅記子
ト 二人合わせて、下の下の下
〒 がお送りします。
ト 言えた言えた。
〒 さて、台本を手にして喜んでいる二人。
ト ガチで今渡されたばかりです。
〒 (2回目以降の舞台の場合) 前の舞台のやつと、また違う台本です。
ト これからわたしたちのクッキングの間だけ、台本を下読みすることができます。
概ね3分。気分によって5分？
〒 それでは、レッツクッキン！

【二人、必死に台本を下読みする】

ト 鶏肉のパリパリ焼き 4人分 材料です。鶏もも肉 (大)2枚(600g) (塩小さじ1/2 粉山椒小さじ1/2) ▼つけだれ しょうゆ 大さじ1 豆板醤 小さじ1 酢 小さじ2 砂糖 小さじ1 おろしにんにく 小さじ1/2 長ねぎ 10cm(縦4つ割にする) しょうがの薄切り 1かけ分 香菜 適量
〒 鶏肉は余分な脂をざっととり除き、ポリ袋に入れて塩、粉山椒を入れ、全体にもみ込む。つけだれの材料を加え、空気を抜いて口を閉じ、たれを全体にゆき渡らせ、1時間つけ込む。オーブンシートを敷いた天板に網を置き、汁気をきった鶏肉を皮目を上にしてのせる。200℃のオーブンに入れ、皮に香ばしい焼き目がつ

き、パリッとするまで約 30 分焼く。食べやすく切って器に盛り、香菜を添える。

〒 続いて、同じようなレシピで

ト (1) は余分な (2) をざっととり除き、(3) に入れて (4)、(5) を入れ、(6)。(7) を加え、空気を抜いて口を閉じ、(8) を全体にゆき渡らせ、1 時間 (9)。(10) に (11) を置き、(12) (1) を (13) を上にしてのせる。(14) °C の (15) に入れ、(16) に (17) がつき、(18) するまで約 (19) 焼く。(20) 切って (21) に盛り、(22) を添える。

エチュード例：不謹慎編

- (1) 鶏肉・死体
- (2) 脂・体毛
- (3) ポリ袋・棺
- (4) 塩・花
- (5) 粉山椒・遺品
- (6) 全体にもみ込む・穴には脱脂綿を詰める
- (7) つけだれの材料・ドライアイス
- (8) たれ・二酸化炭素
- (9) つけ込む・安置する
- (10) オーブンシートを敷いた天板・棺の上
- (11) 網・花束
- (12) 汁気をきった・完全に死んだ
- (13) 皮目・顔
- (14) 200・800
- (15) オーブン・釜
- (16) 皮・三途の川の対岸
- (17) 香ばしい焼目・お迎えの船
- (18) パリッと・成仏
- (19) 30分・2時間じっくりと
- (20) 食べやすく・十字を
- (21) 器・骨壺
- (22) 香菜・位牌

〒 材料は、省略！

ト それでは、どうぞ。

【二人、渡された台本を読み、演じ始める】

【台本、終了】

【男と女、椅子に座ったまま】

【配達人とト書き担当、台本を回収し、新たな台本を渡す。】

【二人、それを読み始める】

女# 楽になった。

ト# 辛かった。

男* 楽になった。

ト 辛かった。

女 台本。

男 脚本。

女 筋書き。

男 役回り。

女 与えられ

男 その通りに演じて

女# 楽になった。

ト# 辛かった。

男* 楽になった。

ト* 辛かった。

女# 本当に楽になった。

ト# 本当に辛かった。

男* 本当に楽になった。

ト* 本当に辛かった。

女 考えなくてもいい。

男 流されればいい。

女 可能性さえなければ迷う必要はないから

男 可能性さえなければ悩む必要はないから

女 答えはこれだと

男 これしかないんだと

女 誰かが言ってくれれば

男 世の中はこうだよと

女 これが正解なんだと

男 誰かが言ってくれれば

女 そもそも答えが幾つもあるなんて知らなければ

男 自由だなんて言葉さえ知らなければ

女 こんなに苦しむ事もないのかもしれない。

男 言葉はココロを表す。

女 そのはずだった。

男 だから読む。

女 繰り返し読む。

男 文脈を掴み、

女 行間を読み、
男 その言葉が何を語ろうとしているのかを読み取ろうと
女 読んで、
男 読んで、
女 読んでいた。
男 そんなわずかの六分の一。
女 そんなわずかの一条二項。
男 日本
女 国民
ト 正義
〒 秩序
男 基調
女 国際
ト 平和
〒 誠実
男 希求
女 国権
ト 発動
〒 戦争
男 武力
女 威嚇
ト 行使
〒 紛争
男 解決
女 手段
ト 永久
〒 放棄
男 前項
女 目的
ト 陸
〒 海
男 空
女 戦力
ト 保持
〒 交戦権
男 認めない。
女 認めない。
ト 認めない。
〒 認めない。
男 戦争の定義は

女 平和の意味は
ト 武力の定義は
〒 永久の意味は
男 繰り返される解釈。
女 意味から遠くなる言葉。
男 拡大される解釈。
女 ココロから離れる言葉。
男 言葉はココロを表す。
女 そのはずだった。
男 日本
女 国民
ト 正当
〒 選挙
男 国会
女 代表
ト 行動
〒 子孫
男 諸国民
女 協和
ト 成果
〒 全土
男 自由
女 恵沢
ト 確保
〒 政府
男 行為
女 戦争
ト 惨禍
〒 決意
男 主権
女 国民
ト 存する
〒 宣言
男 憲法
女 確定
ト 国政
〒 国民
男 厳肅
女 信託
ト 権威

千 国民
男 由来
女 権力
ト 国民
千 代表
男 行使
女 福利
ト 国民
千 享受
男 人類
女 普遍
ト 原理
千 憲法
男 原理
女 基く
ト 反する
千 一切
男 憲法
女 法令
ト 詔勅
千 排除
男 理想論かも知れない。
女 夢物語かも知れない。
男 それでも僕たちは
女 それを信じて。

【ト書き担当と配達人、次々と重要法案を可決していく】

ト 独立行政法人平和祈念事業特別基金等に関する法律の廃止等に関する法律
千 成立～！
ト 入札談合等関与行為の排除及び防止に関する法律の一部を改正する法律
千 談合は駄目だから成立～！
ト 政治資金規正法等の一部を改正する法律
千 面倒くさいから成立～！
ト 北方地域旧漁業権者等に対する特別措置に関する法律の一部を改正する法律
千 よくわかんないけど成立～！
ト 観光立国推進基本法
千 インド行きたい。成立～！
ト ドミニカ移住者に対する特別一時金の支給等に関する法律
千 ドミニカってどこにあるの。成立～！
ト 有機農業の推進に関する法律
千 そろそろキュウリの美味しい季節ですね。成立～！

ト 平成十三年九月十一日のアメリカ合衆国において発生したテロリストによる攻撃等に対応して行われる国際連合憲章の目的達成のための諸外国の活動に対して我が国が実施する措置及び関連する国際連合決議等に基づく人道的措置に関する特別措置法の一部を改正する法律

〒 長い！ でも成立～！

ト 道州制特別区域における広域行政の推進に関する法律

〒 わかんないから、成立～！

ト 防衛庁設置法等の一部を改正する法律

〒 撃たれたらいやだから成立～！

ト 防衛庁の職員の給与等に関する法律の一部を改正する法律

〒 戦車に乗りたから成立～！

ト 貸金業の規制等に関する法律等の一部を改正する法律

〒 利息が減って嬉しいので成立～！

ト 一般職の職員の給与に関する法律の一部を改正する法律

〒 お手盛りで成立～！

ト 特別職の職員の給与に関する法律の一部を改正する法律

〒 またまたお手盛りで成立～！

ト 地方分権改革推進法

〒 えへへへ。成立～！

ト 地方公共団体の議会の議員及び長の選挙期日等の臨時特例に関する法律

〒 どうでもいいので成立～！

ト 信託法の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律

〒 私に関係ないので成立～！

ト 独立行政法人国際協力機構法の一部を改正する法律

〒 国際の協力は成立～！

ト 関税暫定措置法の一部を改正する法律

〒 ブランド安く買えるなら成立～！

ト 教育基本法

〒 学校が崩壊してるので成立～！

ト 著作権法の一部を改正する法律

〒 J A S R A Cが喜びそうだから成立～！

ト 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律等の一部を改正する法律

〒 はしかが怖いので成立～！

ト 消費生活用製品安全法の一部を改正する法律

〒 クレーマーむかつくので成立～！

ト 建築士法等の一部を改正する法律

〒 姉齒万歳、成立～！

ト 日本国憲法の改正手続に関する法律案

〒 うやむやのうちに成立～！ なんなら強行採決～。

男 改正の名のもとに、次々に過去は消し去られ、
女 全ての過去は復元不可能な微塵と化す。
男 このどこをどう読んだら、そんな答えになるんだ。
女 叫びだしたい気持ちをぐっと飲み込んで
男 笑った。
女 笑い飛ばした。
男 馬鹿のように笑った。
女 馬鹿になった。
男 馬鹿らしくなった。
女 こんな有り得ない世界に生きている自分がおかしくて
男 笑った。
女 笑った。

【ト、ㄐ、棒読みで。それを聞きながら笑う男と女】

ト 日本国民は、恒久の平和を念願し、人間相互の関係を支配する崇高な理想を深く自覚するのであつて、平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して、われらの安全と生存を保持しようと決意した。われらは、平和を維持し、専制と隷従、圧迫と偏狭を地上から永遠に除去しようと努めてゐる国際社会において、名誉ある地位を占めたいと思ふ。われらは、全世界の国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免かれ、平和のうちに生存する権利を有することを確認する。

ㄐ われらは、いづれの国家も、自国のことのみに専念して他国を無視してはならないのであつて、政治道徳の法則は、普遍的なものであり、この法則に従ふことは、自国の主権を維持し、他国と対等関係に立たうとする各国の責務であると信ずる。日本国民は、国家の名誉にかけ、全力をあげてこの崇高な理想と目的を達成することを誓ふ。

男 それは、どこか遠い国の事のように
女 それは、まるで何かの冗談のように
男 笑った。
女 笑った。
男 バラエティを見るように。
女 テレビの向こうのこのように。
男 笑った。
女 笑った。
男 でも、テレビの裏には
女 確かに悲しみが詰まっている。

【男と女、最後の一枚を読み終える】

【ト、ㄐ、窓の向こうへ。新聞を取り出し、テレビ欄の裏（三面記事）の見出しを読み上げる】

【読み上げた新聞は次々と捨てられていく】

【音楽】

【窓からシュレッターの屑が噴き出してくる】

【その紙くずの吹雪をかき分けながら進む二人。】

【それぞれ一枚ずつ、細断されかけた一枚の紙片を掴み出す】

【その紙には「日本」と。】

男 ニッポン。

女 ニッポン。

【男と女、その紙を丸めて窓の向こうに捨てようとするが、できない】

【音楽】

【男と女、ただグルグルと腕を回し続ける】

(幕)

※脚本執筆に際し、下記の文献を参考にしました。

- ・ 日本国憲法
- ・ 第165回臨時国会議事録
- ・ キューピー3分クッキング（5月31日放送分）